

2015 JMC アジア物流セミナー

中国における税関調査の実態、税関トラブル事例と日系企業の対応策

我が国の最大の貿易国である中国は、近年の輸出入の増加や税関制度の近代化への対応に向け、昨年、新たな「企業輸出入信用管理制度」を導入し、AEO認証を含む新たな社会信用管理システムの確立を進めています。また今年6月にはEUとのAEO相互承認協定にも合意し、セキュリティと国際物流の円滑化の推進に向けて積極的に動いています。

その一方で、輸出入申告においては商品分類、輸入貨物の申告価格、ロイヤリティの取扱い等を巡り、外資系企業と税関とのトラブルも多発しており、対応を誤ると税追納を命じられるほか、最悪のケースとして密輸行為の嫌疑をかけられかねないため、また、企業信用等も級も格下げとなって日常的な通関効率等に多大な影響が及ぶことから、トラブルを回避し迅速な通関を進めるためにも最新の中国税関事情を知ることが大変重要です。さらに、通関業者や現地スタッフに輸入手続を任せている企業の場合、税関とのトラブルについて、事態收拾が難しくなって初めて邦人幹部に報告が上がるケースもあり、現地法人との日本本社の適切なリスク管理と迅速な対応が急務となっています。

日本機械輸出組合では、このほど、中国税関事情に詳しく、数多くの日中団体、多国籍企業の法律顧問に就かれる他、中国の税関トラブル事例やビジネスリスクマネジメント対策等のセミナー講師経験を有する劉新宇氏を講師に迎え、今年度のアジア物流セミナーを開催することといたしました。

セミナーでは、中国税関の体制、知的財産を含む輸出入取締動向から、ケース・スタディの形で昨今の税関トラブル事例および回避策まで幅広くお話し頂くことにしております。

参加ご希望の方は、以下セミナー概要をご覧の上、当組合ホームページからお早目にお申し込みください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

- 日時 平成27年12月8日(火) 14:00～16:00
- 場所 機械振興会館 6F 6-65・66会議室
東京都港区芝公園3-5-8 ※会場地図参照
- プログラム
 - ・ 中国税関の取締体制と監督管理の最新動向
 - ・ 最近の税関調査の実態と企業への影響
 - ・ 外資系企業が直面する税関トラブル事例(ケース・スタディ)
 - ・ 外資系企業の行政罰・刑事罰トラブル防止策
 - ・ 質疑応答
- * 内容は若干変わることがあります。
- 講師 金杜法律事務所 劉新宇パートナー弁護士

Profile : 金杜法律事務所のパートナー弁護士、中国人民大学法学院税関・外為法研究所所長、中国政法大学大学院特任教授、中国国際経済貿易仲裁委員会仲裁人。中国の税関事情に精通しており、『中国進出企業再編・撤退の実務』(商事法務、編著)をはじめとする書籍が多く日本で出版されている。また日本でのセミナー講師経験も豊富。

- 定員 100名
- 受講料 組合員企業 無料 一般 2,000円
- その他: セミナーは日本語で行います。



お申込み方法

参加ご希望の方は、当組合ホームページからお申込下さい。

申込締切日 平成27年11月30日(月)

<http://www.jmcti.org/jmchhomepage/semminar/index.htm>

※先着順により受付をさせて頂き、定員となり次第受付を終了させて頂きます。

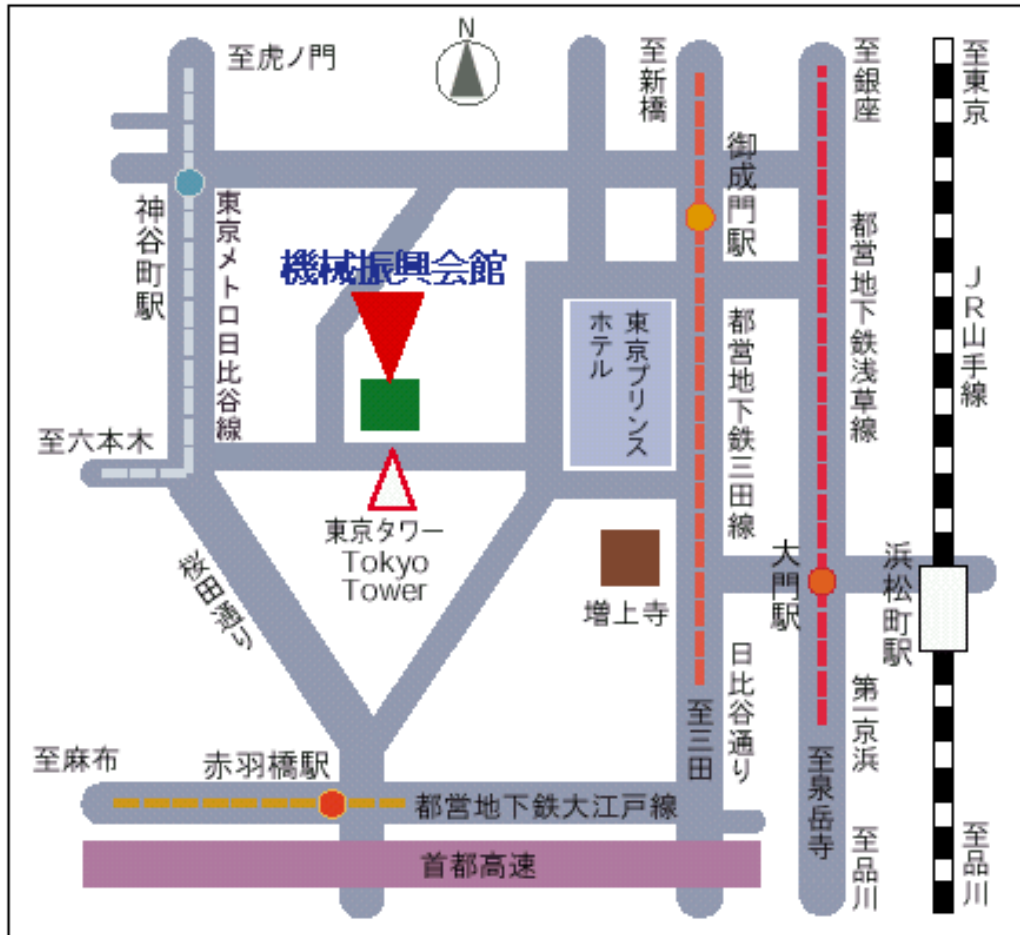
セミナーお問合せ先 :

日本機械輸出組合 部会貿易業務グループ TEL 03-3431-9800・Eメールbukai@jmcti.or.jp

会場へのアクセス

■ 東京会場 機械振興会館

住所：東京都港区芝公園3-5-8



【地下鉄】

東京メトロ日比谷線「神谷町」駅下車 1番出口 徒歩約7分

都営大江戸線「赤羽橋」駅下車 赤羽橋口 徒歩約8分

都営三田線「御成門」駅下車 A1出口 徒歩約10分

都営浅草線「大門」駅下車 A6出口 徒歩約15分

【J R】「浜松町」駅下車 北口 徒歩約18分

【バ ス】「浜松町～東京タワー路線」

「渋谷～東京タワー路線」 東京タワー前下車すぐ